



県議会議員
山本友子



市議会議員
小沢 みか



市議会議員
森山かおる

NO.107 2017.5

ホームページは
ここから



いちはら 市民ネットワーク通信

e-mail: i.shimin-net@muse.ocn.ne.jp
ホームページ http://ichihara-net.com/

発行：いちはら市民ネットワーク 代表 桑田尚子
〒290-0073 市原市国分寺台中央7-1-5 C1 ☎:0436-21-1907 Fax:0436-21-9073

市民活動センター閉鎖、公共施設利用料値上げの一方で…

またまた、市役所の新築案浮上!?

6年前の3.11の震災後、市役所の耐震強度が足りないという理由で緊急に決まったのが、現在建築中の「防災庁舎」(総事業費47億円)。一方10階建ての市役所は耐震補強工事を行いました。ところが今年になって突然、その市役所も建て替えたいという話が浮上。市民の間から疑問の声が上がっています。(2面の森山議会報告に続く)

Q1

「市役所の建て替え」って言うけど
今、工事中でしょ？



いや、あれは防災庁舎と言って、今の市役所の床面積も人数も約半分が移動し、市民の窓口と、いざという時の危機管理部門、復旧のための土木部門が入るんだ。残りの部課は今の市役所の下階に移るんだよ。

Q2

でも今の10階建ての市役所も、地震になったらすぐに壊れるんじゃないの？
建て替えは必要でしょ？

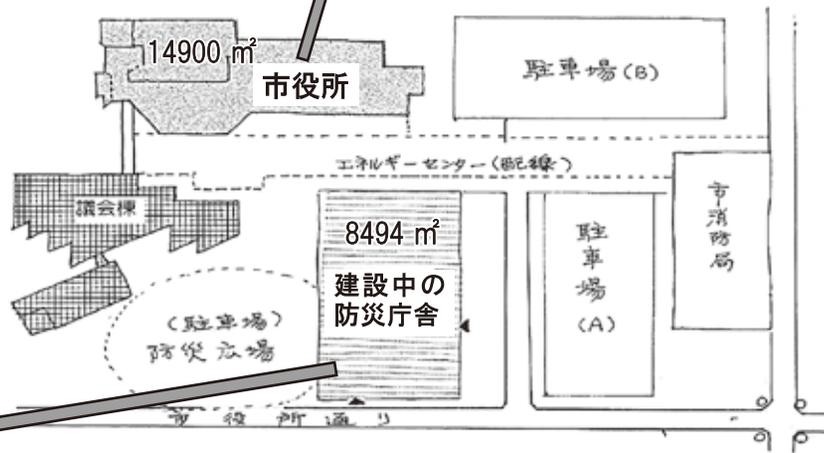


いや、一応3億8400万円かけて耐震補強してあるから急いで建て替える必要はないんだよ。すぐに建て替えると二重投資になるしね。



これまでの方針→5階以上を使わない。防災庁舎に移らない部課は4階以下に移動(環境部・教育委員会・総務・財務・財政・経済部が入る)。

とりあえずの耐震補強工事として、すでに3億8400万円実施済み(エレベーター改修費込)。



建築中の防災庁舎に47億円!



防災庁舎完成予想図
2017年12月予定

4F 市長室
防災危機管理センター

3F 土木部関連

2F 福祉部

1F 市民窓口と
市民生活部関連

Q3

でも、建てたのは昭和47年だから、
建て替えを急いでるんじゃないの？



いや、市内には他にも建て替えの必要な古い建物はたくさんあるんだよ。

予算には限りがあるから、まずはどこを優先するかじっくり考えることが先なのに、なぜ市役所だけ急ぐのか、わからないんだ。

市役所より古い学校などが24ヶ所もあるのに、なんで市役所だけ特別扱い!





ブログで活動を報告

定例議会では、代表質問と29年度予算案の審議を行いました。いよいよ来年度は10年間の総合計画がスタートします。1面掲載の市役所の改修・建て替え計画や、財政運営、地域の身近な公共交通網の確保、ユニバーサルスポーツの推進等、多岐にわたり質問しました。ここでは、若い女性の流出の原因と対策、広報の改革について取り上げます。



市原市議会議員 小沢 みか

若い女性に選ばれるまちへ

イメージ刷新がカギを握る

市原市は、2016年の20〜30代の女性の転

入超過(転出数マイナス

転入数)が199人。これは、近隣

市比較でダントツに多い数値で

す。しかし、若い女性の流出は、転

出が多いだけでなく、転入が少

ないためであるとのデータがで

ています。つまり、市原市は市外

の若い女性から居住先として選

ばれていないのです。

その対策として、交通便利性の

確保や住宅支援の充実なども挙

げられますが、私はもっと根深い

ところの原因があると思います。

メッセージは私たちが考える以上に人

口流出に影響しているのです。

◆男性中心の まちづくりからの脱却を

この対策として、市の顔である

駅周辺で「女性が歩いて楽しめる」

まちづくりを進める必要があります。

そのためには、保育士・保健師・

介護職など女性が多い職種、子育

て・福祉関係の団体、PTAから

一般市民まで、もっと女性の声を

積極的に聴く必要がありますが、

市は相変わらずそれらを十分行う

ことなく諸計画を策定していま

す。



男性主体・男性

主導のまちから、

女性が好むまち

へ変革すること

が出来るか。市の

覚悟が求められ

ます。

◆「広報力」の強化を

市原市は従来から広報が弱点とされて

います。しかも、観光客を呼び込むた

め市外へPRする以前に、市民への広報

に問題があるのです。

例えば、広報紙やHP、回覧板など。

皆さんは、欲しい情報を素早くわかりや

すく手に入れることができますか？

私たちが払った税金がどんなことに使わ

れているかを、もっと知りたいと思いませんか？

平成29年度予算審査特別委員会 意見陳述

今年度予算に「反対」の意見陳述を行いました。今後50〜89億円にも膨らむ「庁舎強靱化対策事業」が予算の中に組み込まれています。これは検討委員会を設けて12月までに今の市役所の減築改修か建て替えの方針を決めるものです。なぜ早急に検討しなければならぬのか、「市役所のあり方」の検討が必要だと訴えました。



ブログで活動を報告

1面より続く

市役所の建て替えは今必要なのか？

◆市民活動の拠点を閉鎖してまで市役所の建て替えを優先？

市は「市民との協働」をうたいながら市民活動の拠点である市民活動センターを閉鎖し、地域活動の場

所がほしいという声にも、財政の厳しさを理由に市民に背を向けていま

す。更に公共施設の利用料金を値上げし、市民に負担を求めています。

このような状況での改修や建て替

えありきの進め方に対して、市民から不満の声があがっています。

◆防災庁舎の完成前に新たな市役所の検討が始まる

現在、市役所の敷地内では今年末の完成を目前に、防災庁舎の建設が進んでいます。この防災庁舎の借金

返済額は32年間で51億円。その上に新たな市役所を建て替えれば、更に

50〜89億円もの借金が上乗せされることとなります。

◆改修・建て替えの理由

市の公共施設の多くは老朽化し、全てを維持していくには莫大な費用

がかかることから、将来の人口減少を見据えた施設の統廃合や維持コストを抑えるために、市は公共施設の再配置基本方針を策定中です。

本来は市役所もこの方針に基づいて検討しなければならぬのですが、検討委員会では策定を待たずに市役所だけを優先して、改修か建て替えかをたった

8カ月間で決めようとしているのです。しかも求められる面積や機能は、後で考えるという無茶ぶりです。

市役所を減築改修・建て替える理由として、コンクリートの劣化と設備機器の耐用年数の限界をあげていますが、市役所

より古い学校を含む公共施設についての劣化調査は行っていない。

改修や建て替えそのものに反対している訳ではありませんが、財政が厳しい状況だからこそ拙速に進めず、「市役所のあり方」からの検討が必要だと訴えました。

市原市議会議員 森山かおる

◆建設分科会の予算審査

かつてはハコモノの建設で花形だった建設分野。今はどの自治体も老朽化した施設やインフラ整備をいかに効率良く維持・管理していくかが求められる時代になりました。

そのために市原市では、道路・橋梁・上下水道施設などの「長寿命化計画」を作って、計画的な改修で費用を抑えることに努めています。国の補助金が付かず計画通りに進められない状況にあります。

市民生活に直結するインフラ整備の優先順位を見直し、財源の確保がもっと必要だと感じました。



山本友子 県議会報告

知事選の結果、森田知事の県政が続くことになりました。福祉・医療・教育の遅れがめだち、環境問題も目が離せない千葉県です。国からはいわゆる「共謀罪」法案や道徳教育の押し付けがじわじわと地域に広がっています。今ここで暮らす人の声をしっかり受け取め、今後も活動していきます。



ブログで活動を報告しています「てくてくとこ」

◆公民館などの使用料を2年で3倍に！

市は4月から、公民館等の使用料や手数料を2年で最高で3倍まで値上げすることを広報に掲載しました。「公民館を利用する人、しない人がいるのだから税の負担の公平性の観点から利用者の負担を増やす」とのことです。

公民館は、もともと市民が利用するために税金で建てられた施設です。今後財政が厳しくなればますます維持管理が厳しくなることは理解できます。しかしだからといって受益者負担だけを値上げの根拠とすると、人口密度の低い地域の公民館の未来は、統廃合と利用料のさらなる値上げしか道が残らないことになります。

市民活動センター閉鎖だけを先に決めて、後の展望を示さなかったために多くの市民の怒りを買った轍(てつ)を踏まないためにも、公民館のあり方を市民本位に考えて、市民と知恵を出しあってほしいと今後も声を上げていきます。



道徳の押しつけは 憲法違反！

「道徳」を5段階評価にできるの？

道徳が、来年度から小学校で正式な教科として授業に組み込まれます(中学校は次の年から)。文科省の中央教育審議会は「心の中を評価することはできない」と反対してきました。しかし安倍政権は審議会のメンバーを入れ替えて、とうとう教科化してしまいました。天津市の中学生への「いじめによる死」がきっかけだと言われていますが、果たして友情や家族への愛などを強要し、心を縛つ

ていじめはなくなるのでしょうか。絶対的な「善」や「正義」を上から押し付けて、心が成長するのでしょうか。また教科化は、教師に生徒の道徳心を5段階で評価することを強いられます。「良い子、悪い子、ふつうの子」を決めるなんてだれにできるのでしょうか。これまで3度廃案になった「共謀罪」の審議が、国会で強行採決されそうです。森友学園問題では、総理夫人が教育勅語を唱和する園児とその指導方針を「すばらしい」

と絶賛しました。憲法では国民が主権者であると言いつつ、99条で憲法は為政者を縛ると明言しています。しかし国がこの原則をねじ曲げようとしています。あかしいことはあかしいと自分で判断し行動できる子どもを育てる教育をしっかりと守っていききたいと思えます。



空き家対策と まちづくり

空き家対策と都市計画は コインの裏表

団地内でもポツポツ空き家が目立ちますが、一方で新築のアパートや住宅も増えています。既存の団地が虫食い状態になりながら、周辺に新しい家が増えていく地域もあります。しかし市の人口が増えているわけではなく、どうやら子や孫の世代が市内に新しく居を構え始めています。

本気でコンパクトシティ？

今、各自治体の都市計画では「コンパクトシティ」が合言葉になっています。街が高齢化しても、身近なところで医療・福祉・買い物・公共インフラ(水道・下水道・行政サービス)が

整っていれば安心して住み続けることができるからです。しかしコンパクト化は簡単には進みません。

堅実で地道な都市計画を！

今後は市原も「ぼちぼち」「ゆっくり」歩む成熟した社会を目指す段階にきています。

具体的には、団地内の空き家・空地に若い世代の入居を誘導する施策、公共施設と民間店舗が同じ空間にある施設づくり、子育てしやすい環境整備を進める、など財政に限りはあっても工夫次第で道は開けるはず。市の計画の中で自分の街の将来の姿が、市のホームページや広報でどのように描かれているか、関心を寄せていきましょう。



3/23静岡県男女共同参画センター「あざれあ」視察
千葉県男女共同参画センター移転・改築に先立ち、女性の交流の場を提供している静岡県のセンターの活動・施設を見学。



3/24聖隷浜松病院視察
地域医療連携や在宅医療、充実した相談室について学ぶ。

視察報告

講演会の報告

すてきな終活 がんになっても怖くない

2017
2/25



五味博子医師
五味クリニック院長
帝京大学非常勤講師
医学博士
在宅訪問医としてがんに関する相談を多く受けている

市民ネットワークの定期総会後、姉崎在住の五味博子先生の講演会を行いました。会場の椅子が足りなくなるほど、たくさんの方の参加があり、市民の関心の高さが伺えました。

在宅医療を始めて25年、先生は「人が死ぬ時は食欲が低下し、意識が落ちてくると脳内モルヒネ様物質が分泌され、幻覚が見え安らかに天に召される事を、在宅で看取った3千人以上の患者さんから学びました。ただし自然にまかせ、抗わず見守っていられた場合に限りです。家族があわてて『意識がありません』と救急車を呼べば、病院に搬送されて、たちまち医療行為が始まり、天国から引きずり戻されるので」と語られました。

いくら医学が発展してもヒトは、いつか死を迎えます。現在、一人一人が癌を患うと言われています。最近、終末期医療のあり方が「延命」治療から、人生の最期まで「生活の質を維持」することに変わり、そのため痛みを和らげる医療に変



五味先生のユーモアあふれる話に会場は熱気に包まれ、和やかな雰囲気になりました。

講演会後、市民ネット事務所には「自分のリビンググウィルを書いたよ」「気持ちが楽になった」「かかりつけの医者に看取りを頼んだわ」との声が相次いで届いています。

(桑田尚子)

市民ネットのお知らせ

市民ネット事務所で開催しています。
(月～金10:00～17:00)
連絡先 21 - 1907

山本友子の政治カフェ

公共施設のあり方・環境問題・福祉課題など、県議会の裏話も含めてお話しします。

日時：5月24日(水)13:30～

場所：いちほら市民ネットワーク事務所

●暮らしなんでも相談 議員が対応いたします
毎月 第4月曜日 10:00～16:30
次回予定 5月22日 6月26日 7月24日

●折り紙教室「折り紙名人」 福田進一氏
毎月 第3火曜日 13:00～15:00
次回予定 5月16日 6月20日 7月18日
参加費100円(震災復興支援に募金)

●おしゃべり介護喫茶
毎月 第4金曜日 13:30 オープン
店主 喜多 庸子さん(介護歴19年)
次回予定 5月26日 6月23日 7月28日

●アートギャラリー

5月 手作り作品(布バッグなど) なかよし会
6月 油絵「青空の行方」 高橋光夫
7月 切り絵展 池田知尋

☆あなたの作品を展示しませんか

会場の使用料は無料です。作品展・サークルの発表会などにご利用ください。
期間は1か月 月曜～金曜
(土・日・祝日休館)
閲覧時間 10:00～16:30
委託販売できます。

♥「おしゃべり介護喫茶」

店主のつづやき2

～市民ネットの事務所で第4金曜日に開催しています～

◆一緒に暮らさないと解らない

先日、横浜に住む弟たちが新婚の次男夫婦を連れて母に会いに来た。皆でお昼を食べようと私の家族と総勢8名が居間のテーブルにキツキツに座りワイワイ食事した。母は機嫌良く頭も良く回り、若いお嫁さんに「お婆ちゃん若々しいですね。」なんて言われてご満悦。弟夫婦も「お母さん、まだまだ元気だね。色んな事が良くわかってる。」なんて言われてニコニコ。

夕方近くに、弟一行が帰って、夕食までしばしお昼寝。夕方になって起こしに行くと、「庸子ちゃん、今日大広間に来た連中は誰だい？あんたの息子達かい？」と言い出した。「エッ！今日来たのは、お母さんの息子夫婦とその次男夫婦でしょ！お嫁さんを、お母さんに会わせに来たでしょ！」と言うと「ヘー。私に息子がいたのかい？知らなかった！ちょっと、それにここは何処だい？あんたの家かい？大広間があったのね。」なんて言う。「お母さん！しっかりしてよ！」ガックリの私。

この落差が認知症なんだと思う。お客さんが来ると、何故か正気スイッチが入り、しっかりした受け答えが出来てしまう。これでは、ほかの人に介護の大変さは伝わらない。その上、母の場合はいつも違う事が起こると混乱し、自分のいる場所もわからなくなるらしい。「お母さん、しっかりしてよ！この小さい家にいつから大広間が出来たんだい！」ため息交じりにつぶやく私。介護の大変さ、これじゃあ弟にだって伝わらないよ。



喜多庸子さん
(介護歴19年)

市民ネットの活動は…

1. ネットの議員は、企業・団体とのしがらみがないので、きっぱり大胆に発言できます。
2. 議員報酬の多くを市民ネットの活動費に。
3. 一人ひとりの声を大切にして市民参加の政治をつくれます。

市民ネットワーク会員募集

会費振込先

いちほら市民ネットワーク

郵便振込口座 00130-3-575259

ゆうちょ銀行 店番058 普 2941343

年会費 2,000円